

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			訓練室の広さは運営基準を満たしている。契約日数については、利用定員の旨を保護者へ説明・相談して決定している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令に従って適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか	○			トイレ等車いすでの利用ができるようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々の朝礼時に実施し、都度の改善を図っている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎月の利用希望表送付時に保護者に意見・要望を聞き取る為の用紙を配布し、回収している。回収後については、個別支援計画へ反映し、日々の支援に役立てている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回から公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後は、外部評価を行い改善につなげていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修会を開催している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			現状では、できている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	現在は使用できていない為、客観的な信頼性・妥当性を有するGold Standardと呼ばれるようなツールを使用していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○	日々の勤務スタッフによるところが多いが、スタッフで相談した上でプログラムを決定している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			内容を検討の上、固定化しないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		課題のきめ細やかさについては改善する必要がある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別支援計画にて支援内容等は作成しているが、全ての児童においての個別活動と集団活動の組み合わせができていないものもある。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々の朝礼時に確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		業務終了時間が異なる為、当日の振り返りができていない日があるが、翌日の朝礼時に前日の振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとること徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の全利用児童の日々の支援に関しては、業務日報に記録している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			自己肯定感を育む事ができるよう、成功体験を積み重ね、将来を見据えた活動や外出の機会を増やし、自然に触れる機会を設け、季節に応じた制作活動により、豊かな感性を養う事ができるように支援をしている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	相談支援事業所の担当者会議に参画する必要がある。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			適切に行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	22	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制をとの整えているか	○			現状は医療ケアが必要な児童はいないが、看護師が対応する等の連絡体制は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			日々の利用時や電話連絡等で情報共有、相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	親御さんからの求めがあれば応じる事ができるが、今後については必要があれば情報共有する等していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今後、必要があれば専門機関との連携や助言、研修を取り入れていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在のところ、左記のような交流や活動はできていないが、今後については検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	現状はできていないが、機会があれば参加を検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の利用児童の詳細については、送迎時に伝えている。更に、必要があれば毎日複数の保護者に電話連絡を入れる事により、状況や課題の共通理解を持っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	上記に同じく、利用児童の詳細を伝える事と同時に保護者に対しての支援を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時以外にも必要な場面があれば職員が細かく説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			児童の発達段階や年齢に応じた悩みや相談には、適切に応じている。必要があれば、助言等行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年間三～四回の保護者会を実施し、保護者間の連携を支援している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情担当者、責任者を決め、利用児童や保護者に周知している。苦情があれば迅速かつ適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月一度「おたより」を発行し、全契約者に郵送している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			契約書類関係、個別支援計画、受給者証等の個人情報については、保管する書庫の管理施設を徹底している。また、日々の運行計画書についてはその日のうちにシュレッダーにて廃棄している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉のみならず、子どもには絵カード等を用い、上記の「おたより」には全てルビを付している。また、保護者への対応については、送迎時に様子の報告をし、必要に応じて電話にて詳細を話している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現状はできていないが、地域の行事(秋祭り)等には、寄付をする等で協力している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定できている。社員や保護者が閲覧できるように配慮している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月一回以上の訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に「虐待防止」やその他の研修会を開催し、実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				やむを得ず身体拘束を行う必要性のある児童はいないが、必要が生じた場合には適切に対応する用意は整っている。

		こうもく チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	かいぜんもくひょうくふう 改善目標、工夫している点など
④2		しょくもつ 食物アレルギーのある子どもについて、 いし しじしよ もと たいおう 医師の指示書に基づく対応がされている か	○			ほごしゃ 保護者からいし しじしよ 医師の指示書もらい、それにもと 基づいたたいおう 対応ができています。
④3		じれいしゅう さくせい じぎょうしょない ヒヤリハット事例集を作成して事業所内 きょうゆう で共有しているか	○			た じぎょうしょ ほうこくしょ 他事業所での報告書をファイリングし、ぜん 全 スタッフはかなら、えつらん うえ ひつよう おう 必ず閲覧の上、必要に応じて話し あ じっさい ほうこくしょ ないよう きょうゆう 合い、実際の報告書の内容を共有してい る。